



「科学技術イノベーション」は持続可能な開発目標(SDGs)と両立するか ＝「だれも取り残さない」未来に向けた対応策を求めて＝

[日時]2018年7月23日(月)18:30～20:35

[場所]聖心女子大学、グローバルプラザ、ブリット記念ホール

東京都渋谷区広尾 4-3-1 聖心グローバルプラザ(4号館)

行き方:東京メトロ日比谷線「広尾」駅下車 4番出口から徒歩1分

アクセスマップ: <https://www.u-sacred-heart.ac.jp/images2/sisetu-kitamon-1.jpg>

[参加料]無料

[参加申込み]こちらのリンクからお願いします。 <https://goo.gl/forms/2V63mrXvJchFNsJ53>

[目的]「ソサエティ 5.0 の実現」が日本の SDGs への取り組みの主流になりつつあります。一方で、大規模な科学技術イノベーションの導入が、雇用や労働の在り方の激変、国内外の格差の拡大、エネルギー消費の拡大、人間疎外などを生み出す可能性もあります。科学技術イノベーションと貧困をなくし、持続可能な経済・環境・社会をつくるという SDGs の達成を両立させるには何が必要か。「ソサエティ 5.0」を真に「人間中心の社会」にするための社会的対応を考えます。

[プログラム]

- 進行:稲場雅紀氏(SDGs 市民社会ネットワーク 専務理事)
- オープニング:明石秀親氏(みんなの SDGs 事務局長)

- 基調講演:田中直氏(適正技術フォーラム)
「科学技術イノベーションの人間疎外リスクと、適正技術の展望」

- 講演1;甲木浩太郎氏(外務省地球規模課題総括課長)
「我が国の SDGs における科学技術イノベーションの位置づけ(仮題)」
- 講演2;春日文子氏(フューチャー・アース国際本部日本ハブ事務局長)
「SDGs の視点から見た科学技術イノベーションと社会のつながり(仮題)」
- 講演3;高田潤一氏(東京工業大学地球環境共創コース教授)
「ソサエティ 5.0 が開発に資するための市民社会の役割」

- クロージング:大橋正明氏(聖心女子大学グローバル共生研究所所長)

[主催・共催]みんなの SDGs、聖心女子大学グローバル共生研究所、SDGs市民社会ネットワーク